



index

page 1  
代表挨拶  
H17年度総会開催される

page 2  
H17年度役員紹介

page 3  
京都府災害ボランティアに加盟

page 4  
ゆめっとファンドについて  
ゆめっと10周年に向けて

## 人生に必要な知恵はすべて・・・



代表 神崎 清一

「ゆめっと」が設立された同じ頃、1996年に発刊された「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」(ロバート・フルガム著:河出文庫)という本があります。お読みになられた方も多く、また内容についてご存知の方も多くいらっしゃると思います。

著者は「人間どう生きるのか、どのように振る舞い、どんな気持ちで日々を送ればいいのか、本当に知っていなくてはいけないことを、知識を学ぶ機関はでなく、幼稚園の砂場で全部残らず教わった」とし、以下のようにまとめています。(要約し略しています)

何でもみんなで分け合うこと。ずるをしないこと。人をぶたないこと。使ったものは必ずもとのところに戻すこと。ちらかしたら自分で後片付けをすること。人のものに手を出さないこと。誰かを傷つけたら「ごめんなさい」と言うこと。食事の前には手を洗うこと。トイレに行ったらちゃんと水を流すこと。釣り合いの取れた生活をする事—毎日、少し勉強し、少し考え、少し絵を描き、歌い、踊り、遊び、そして働くこと。毎日必ず昼寝をすること。不思議だな、と思う気持ちを大切にすること。金魚も、ハムスターも、二十日鼠も、発泡スチロールのカップにまいた小さな種さえもいつかは死ぬ。人間も死から逃れることは出来ない・・・

さて、私たちはいかがでしょうか。子どもの頃、その時期に必要なときに必要な知恵を学ぶことができたでしょうか。学び獲得をした知恵を大切に、人生を送ることができているのでしょうか。わたしにとって、「人生に必要な知恵」は、学生時代にあるボランティアの団体で改めて学びました。

人にはそれぞれ、知識ではなく大切な知恵を学ぶチャンスが何度かあるのではないのでしょうか。その一つが、加盟されている団体でありグループでの皆さんの活動ではないのでしょうか。活発に、人と社会に向き合う団体やグループの活動では、その活動を通して、一人ひとりが人生に必要なことを教わるのではないのでしょうか。そして自信を持って、「人生に必要なことはここですべて学びました」と言えるのではないのでしょうか。

10年を迎えようとしている「ゆめネットワーク」が、そのような団体のネットワークとなりますよう、そして「青年・青少年にとっての砂場」となりますように、皆様と共に歩むことができますようにご支援の程よろしく願います。

### [平成17年度が通常総会開催されました]



去る5月8日(日)京都市下京区の京都府民総合プラザにて行われました。総会は3部構成で、第1部では神崎代表の挨拶につづき、来賓を代表して京都府府民労働部青少年課課長の花木伸一氏、(社)京都青少年育成協会会長の木村英男氏よりゆめっと京都の10周年への取り組みに合わせ、多様なネットワーク作りに重ねて期待する趣旨のご挨拶を戴きました。引き続き、議長選出ののち議題として第1号議案から第5号議案が諮られ、平成16年度の事業報告・決算、平成17年度の事業計画・予算、会則の一部改正がすべて承認されました。

また、第2部では、京都府府民労働部部長の加瀬康夫氏より「ゆめっとへの思い」をテーマに講演していただきました。ゆめっと京都の設立に携わられた当時の経緯を切り口に、明年10周年を迎えるゆめっと京都に対し熱き思いを語っていただきました。講演終了後には、加盟団体の事例発表があり参加者全員が熱心に耳を傾けておられました。最後の第3部では、交流懇親会を開催し各団体の更なる交流を深める場となり、無事通常総会は終了しました。

